整理番号	H-V030-J-17

バタフライバルブ 56・75 型
（手動用: 400～600 mm）
本体材質： PP, PVDF

バタフライバルブ 56D・75D 型
（手動用: 400～600 mm）
本体材質： PDCPD

取扱説明書

目　次　　（ページ）

1.弊社製品の保証内容について …… 1
2.取扱い使用上の注意 …… 2
3.運搬・開梱・保管の注意 …… 3
4 各部品の名称 …… 4
5.使用圧力と温度の関係 …… 13
6.リミットスイッチボックス仕様 …… 14
7.取付方法 …… 15
8.リミットスイッチボックス結線方法 …… 18
9.操作方法 …… 19
10.部品交換のための分解及び組立方法 …… 20
11.ストッパの調整方法 …… 21
12.点検項目 …… 22
13.不具合の原因と処置方法 …… 22
14.残材・廃材の処理方法 …… 23

旭有機材

本取扱説明書は、弊社製品を安全にご使用頂くための重要な事柄について記載しています。

尚、お読みになられた後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管ください。

【表示マーク】

＜警告・注意表示＞

警告	取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うことが想定される内容」です。
注意	取扱いを誤った場合、「傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される内容」です。

＜禁止・強制表示＞

	製品の取扱いにおいて、「行ってはいけない内容」で禁止します。
	製品の取扱いにおいて、「必ず行っていただく内容」で強制します。

1. 弊社製品の保証内容について

・弊社製品のご使用に際しては、製品仕様や注意事項等の遵守をお願い致します。

・弊社は製品の品質・信頼性の向上に努めておりますが、その完全性を保証するものではありません。特に人の生命、身体または財産を侵害する恐れのある設備等へご使用される場合には、通常発生し得る不具合を十分に考慮した適切な安全設計等の対策を施してください。このようなご使用については、事前に仕様書等の書面による弊社の同意を得ていない場合は、弊社はその責を負いかねますのでご了承願います。

・弊社製品の選定、施工・据付、操作、メンテナンス等の注意事項は技術資料、取扱説明書等に記載してありますので、最寄りの販売店・弊社営業所へお問い合わせください。

・弊社製品の保証期間は納入後１年間とし、保証期間中に不具合が生じ、弊社に通知された場合は直ちに原因究明を行い、弊社製品に欠陥が発見された場合には弊社の責任でその製品を修理・交換致します。

・保証期間経過後の修理・交換は有償となります。

・ただし、次に該当する場合は保証の対象外と致します。

(1)ご使用条件が弊社の定義する保証範囲を超えている場合。

(2)施工・据付、取扱い、メンテナンス等において、弊社の定義する注意事項等※が守られていない場合。

(3)不具合の原因が弊社製品以外の場合。

(4)弊社以外による製品の改造・二次加工による場合。

(5)部品をその製品の本来の使い方以外にご使用された場合。

(6)天災・災害等の弊社製品以外の原因による場合。

※ 尚、弊社製品の不具合により誘発される損害については、保証の対象外と致します。

・この保証は弊社製品を日本国内で使用される場合に限り適用されます。海外でご使用される場合には、別途、弊社にお問い合わせください。

2. 取扱い使用上の注意

警告

・当社樹脂製配管材料に陽圧の気体をご使用される場合は、水圧と同値であっても圧縮性流体特有の反発力により危険な状態が想定されますので、管を保護資材で被覆する等周辺への安全対策を必ず施してご使用願います。尚、ご不明な点はお手数ですが弊社窓口へお問い合せください。配管施工完了後、管路の漏れ試験を行う場合、水圧にて確認してください。止むを得ず気体にて試験を行う場合、最寄りの営業所へ事前にご相談ください。

注意

・バルブに乗ったり重量物を載せたりしないでください。(破損する恐れがあります)

・火気・高温な物体に接近させないでください。(変形・破損・火災する恐れがあります)

・使用温度及び使用圧力は許容範囲内でご使用ください。(最高許容圧力は水撃圧を含んだ圧力です。許容範囲外で使用されますとバルブが破損する恐れがあります)

・保守点検が出来るスペースは十分確保してください。

・適切な材質を選定してご使用ください。(薬液の種類によって部品が侵され破損する恐れがあります。詳細については最寄の営業所へ事前にご相談ください)

・結晶性物質を含んだ流体では再結晶しない条件でご使用ください。
(バルブが正常に作動しなくなります)

・常時、水・粉じんなどが飛び散る場所及び直射日光のあたる場所は避けるか、又は全体を覆うカバー等を設けてください。(バルブが正常に作動しなくなります)

・定期的なメンテナンスを行なってください。(長期保管、休転時または使用中の温度変化や経時変化により漏れが発生する場合があります)

・バタフライバルブ(ギヤ式)はセルフロックウォームギヤ構造となっており、通例の使用条件では、任意に開度調整を行い流量調整が可能です。振動又は流体の影響(高流速、乱流等)によっては、中間開度でご使用の場合、ディスクが閉閉側に移動する可能性があります。必要に応じてオプションの「ハンドルロック」をご指定ください。ハンドルロック機構は、厳しい条件において任意開度で使用するバルブ開度の変更を防ぎます。

3. 運搬・開梱・保管の注意

警告

・バルブの吊り下げ・玉掛けは、安全に十分注意して吊り荷の下に立たないでください。

注意

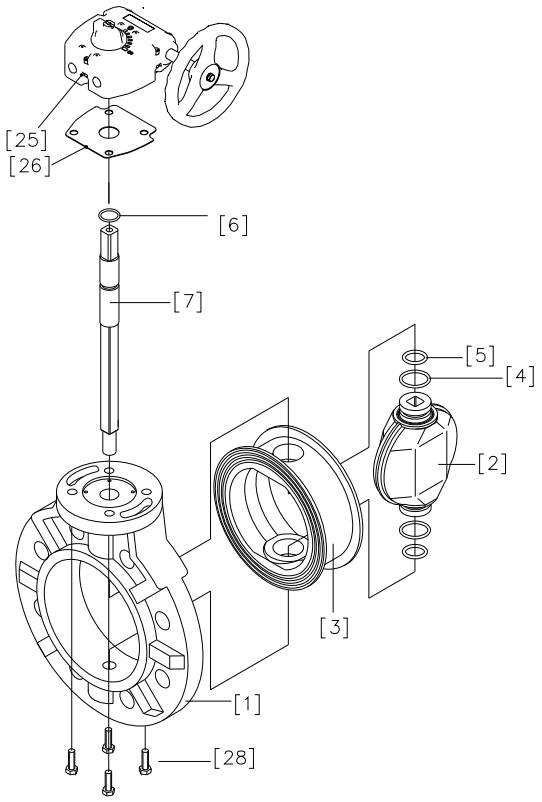
・投げ出し・落下・打撃等による衝撃を与えないでください。
（損傷や破損の恐れがあります）
・鋭利な物体(ナイフ・手掛など)で引っかき・突き刺しなどをしないでください。
・ダンボール梱包は、荷崩れしないように無理な積み重ねをしないでください。
・コールタール・クレオソート(木材用防腐剤)・白あり駆除剤・殺虫剤・塗料などに接触させないでください。(膨潤により破損する恐れがあります)
・バルブを運搬する場合、ハンドル掛けはしないでください。

・配管直前までダンボールに入れたまま、直射日光を避け、屋内(室温)で保管してください。
又、高温になる場所での保管も避けてください。
（ダンボール梱包は水などに濡れると強度が低下します。保管・取扱には十分ご注意ください）
・開梱後、製品に異常がないか、また仕様と合致しているかご確認ください。

4. 各部品の名称

呼び径：400mm（本体材質：PP, PVDF）

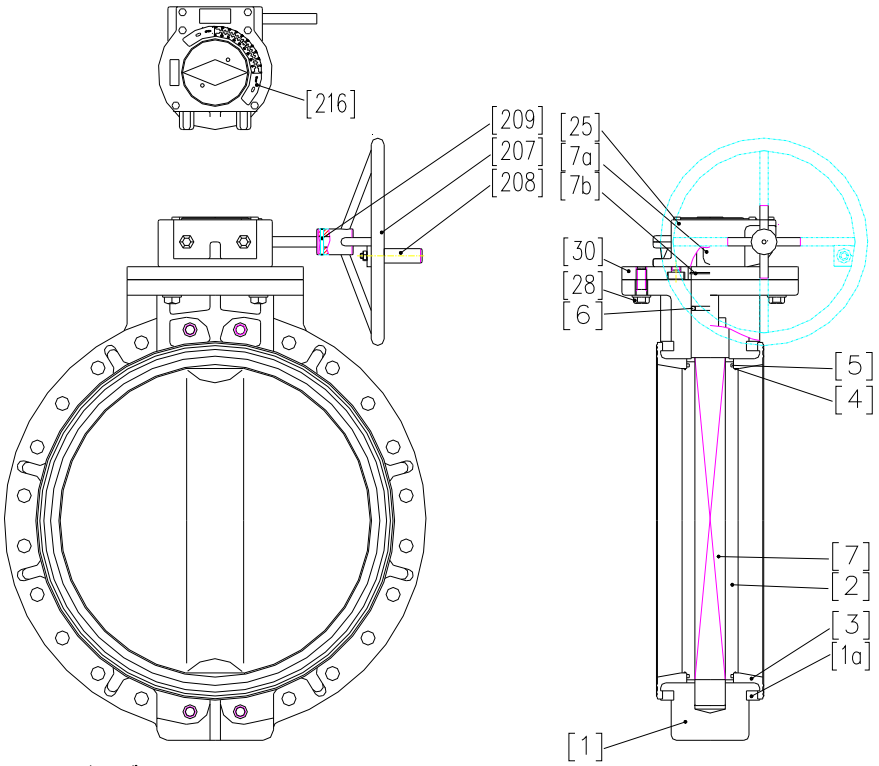
サイドギヤ式（Type 3）



No.	名　称
[1]	ボディ
[2]	ディスク
[3]	シート
[4]	O リング（A）
[5]	O リング（B）
[6]	O リング（C）
[7]	ステム
[25]	ギヤボックス
[26]	ガスケット(A)
[28]	ボルト(C)

呼び径：450～600mm（本体材質：PP, PVDF）

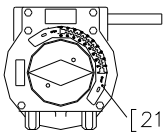
サイドギヤ式（AB1250N）

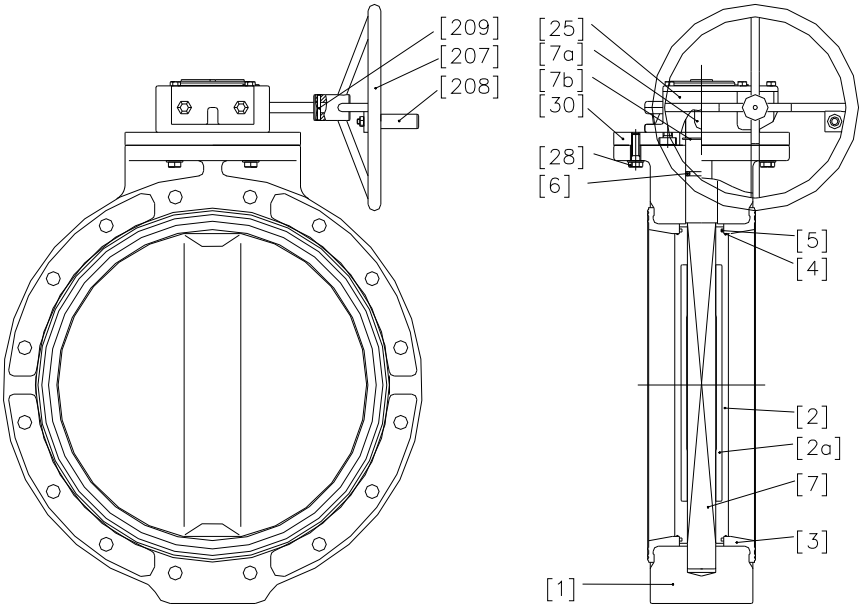


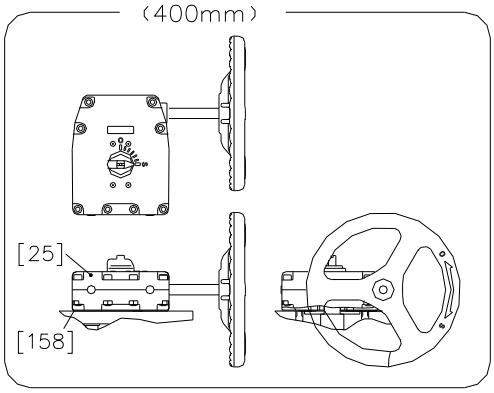
No.	名　　称
[1]	ボディ
[1a]	リング
[2]	ディスク
[3]	シート
[4]	O リング（A）
[5]	O リング（B）
[6]	O リング（C）
[7]	ステム
[7a]	キー(A)
[7b]	C 形止め輪
[25]	ギヤボックス
[28]	ボルト(C)
[30]	取付台
[207]	ハンドル(C)
[208]	ハンドルグリップ
[209]	スプリングピン
[216]	開度表示板

呼び径：400～600mm（本体材質：PDCPD）

サイドギヤ式（Type 3/ AB1250N）



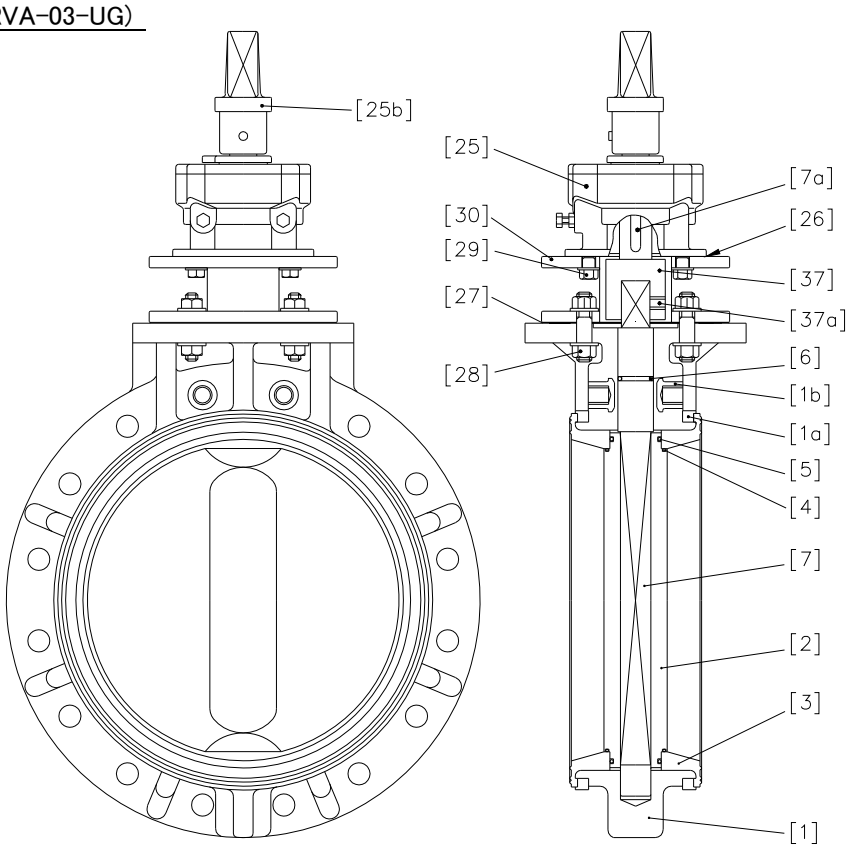


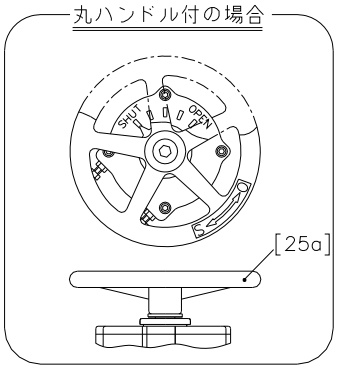


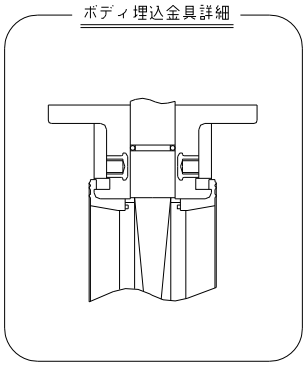
No.	名　称
[1]	ボディ
[2]	ディスク
[2a]	ディスクインサート
[3]	シート
[4]	O リング（A）
[5]	O リング（B）
[6]	O リング（C）
[7]	ステム
[7a]	キー(A)
[25]	ギヤボックス
[26]	ガスケット(A)
[28]	ボルト(C)
[30]	取付台
[207]	ハンドル(C)
[208]	ハンドルグリップ
[209]	スプリングピン
[216]	開度表示板

呼び径：400mm（本体材質：PP, PVDF）

トップギヤ式（RVA-03-UG）



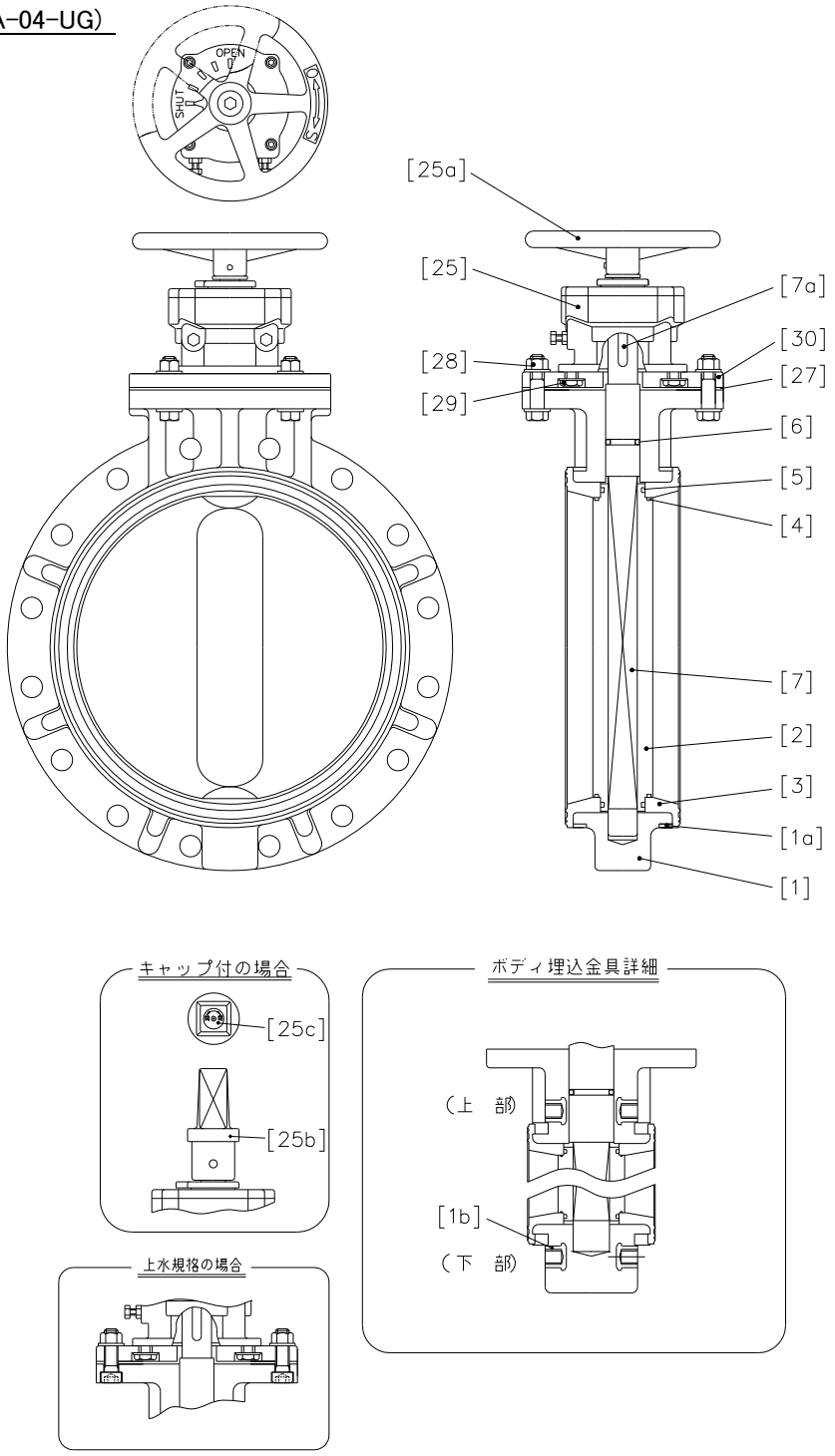




No.	名称	No.	名称
[1]	ボディ	[25]	ギヤボックス
[1a]	リング	[25a]	丸ハンドル(A)
[1b]	ボディ埋込金具	[25b]	キャップ(B)
[2]	ディスク	[26]	ガスケット(A)
[3]	シート	[27]	ガスケット(B)
[4]	O-リング(A)	[28]	ボルト・ナット(A)
[5]	O-リング(B)	[29]	ボルト(D)
[6]	O-リング(C)	[30]	取付台
[7]	ステム	[37]	継手
[7a]	キー	[37a]	止めねじ(C)

呼び径：450～600mm（本体材質：PP, PVDF）

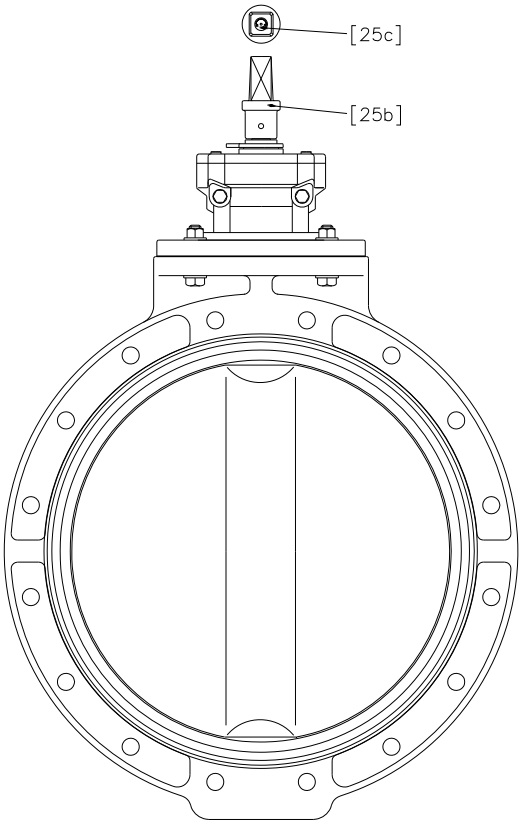
トップギヤ式（RVA-04-UG）

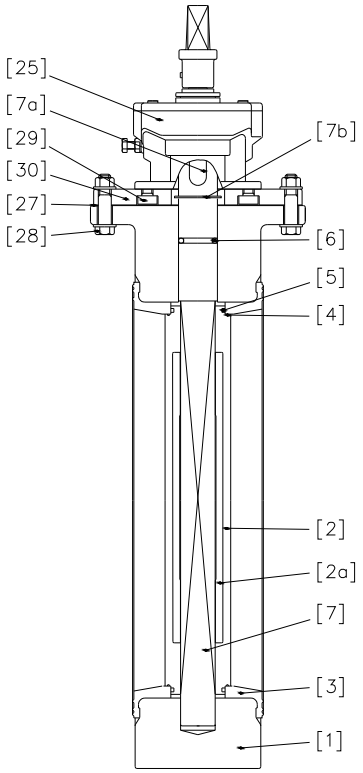


No.	名称	No.	名称
[1]	ボディ	[7a]	キー(A)
[1a]	リング	[25]	ギヤボックス
[1b]	ボディ埋込金具	[25a]	丸ハンドル(A)
[2]	ディスク	[25b]	キャップ(B)
[3]	シート	[25c]	開閉方向表示板
[4]	O-リング(A)	[27]	ガスケット(B)
[5]	O-リング(B)	[28]	ボルト・ナット(G)
[6]	O-リング(C)	[29]	ボルト(D)
[7]	ステム	[30]	取付台

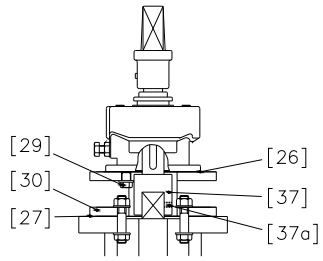
呼び径：400～600mm（本体材質：PDCPD）

トップギヤ式（RVA-03-UG/ RVA-04-UG）

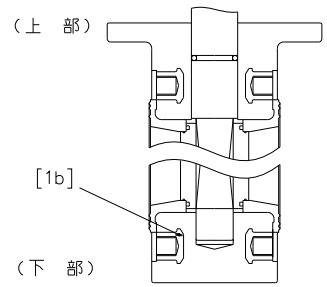




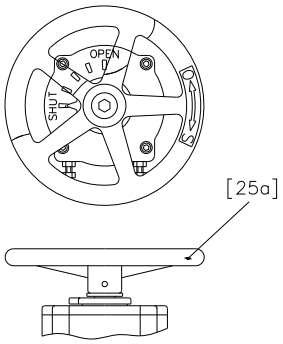
400mm取付台・駆動部



ボディ埋込金具詳細



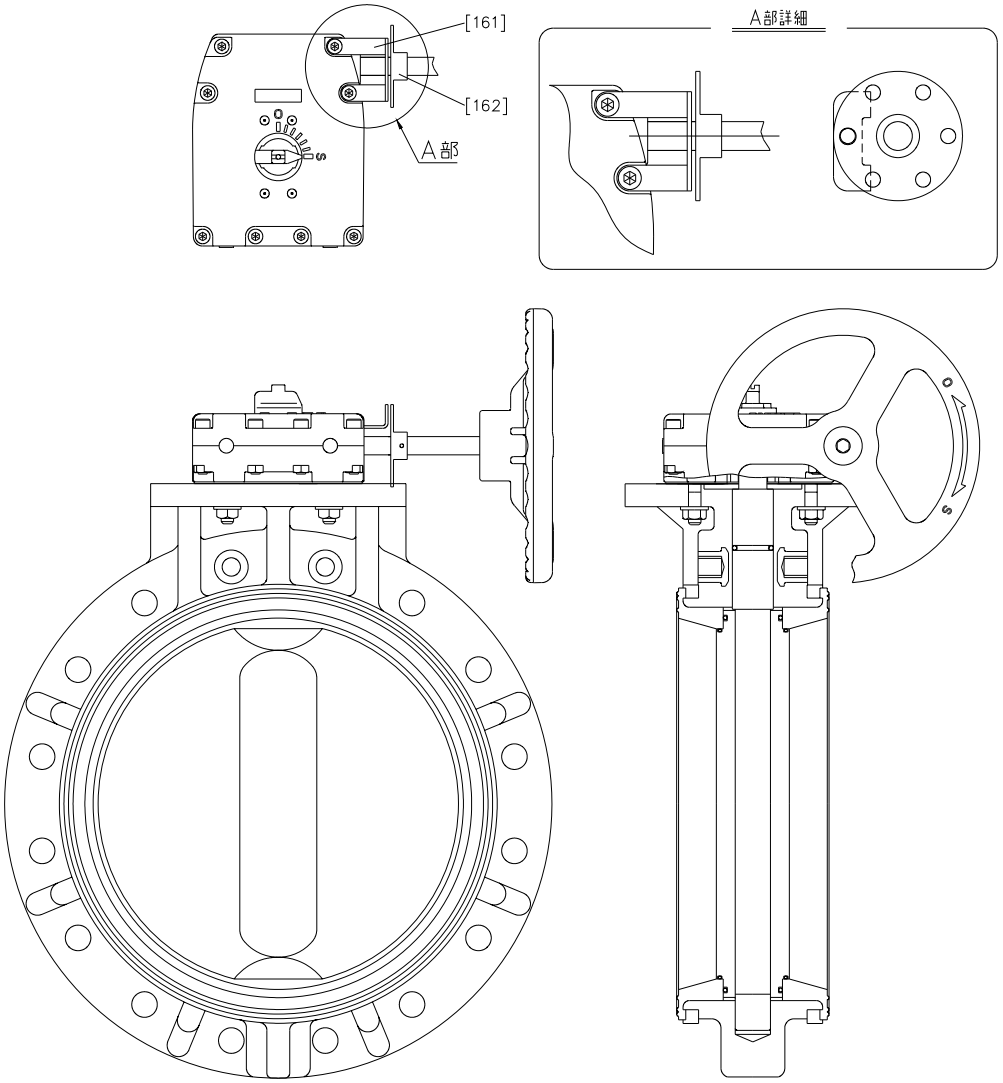
丸ハンドルの場合



No.	名称	No.	名称
[1]	ボディ	[25]	ギヤボックス
[1b]	ボディ埋込金具	[25a]	丸ハンドル(A)
[2]	ディスク	[25b]	キャップ(B)
[2a]	ディスクインサート	[25c]	開閉方向表示板
[3]	シート	[26]	ガスケット(A)
[4]	O-リング(A)	[27]	ガスケット(B)
[5]	O-リング(B)	[28]	ボルト・ナット(G)
[6]	O-リング(C)	[29]	ボルト(D)
[7]	ステム	[30]	取付台
[7a]	キー(A)	[37]	継手
[7b]	C 形止め輪	[37a]	止めねじ(C)

呼び径： 400mm (本体材質： PP, PVDF, PDCPD)

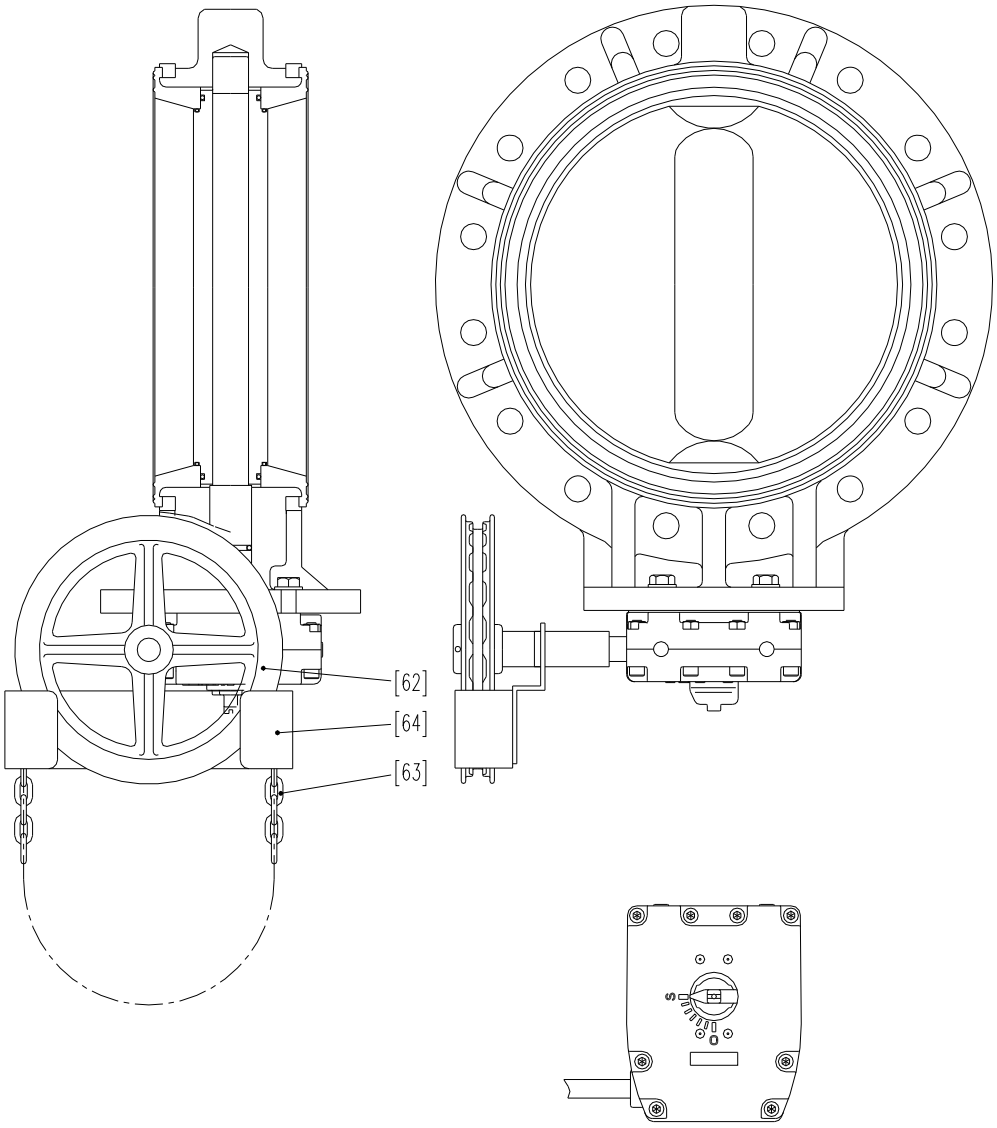
サイドギヤ式 (Type 3) (オプション)



No.	名称
[161]	ロッキングプレート(A)
[162]	ロッキングプレート(B)

呼び径： 400～600mm（本体材質： PP, PVDF, PDCPD）

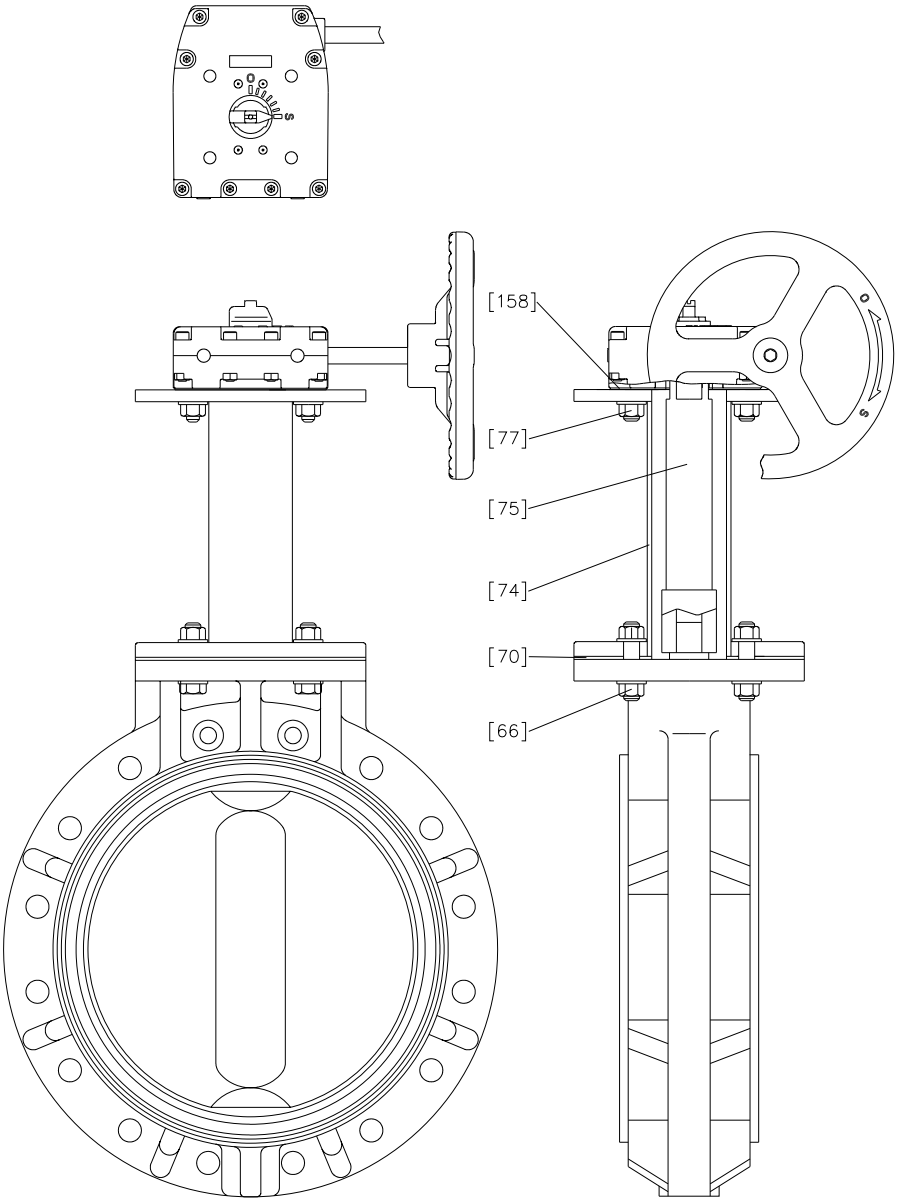
チェーン式（Type 3/ AB1250N）（オプション）



No.	名称
[62]	スプロケットホイール
[63]	チェーン(A)
[64]	チェーンカバー

呼び径： 400～600mm (本体材質： PP, PVDF, PDCPD)

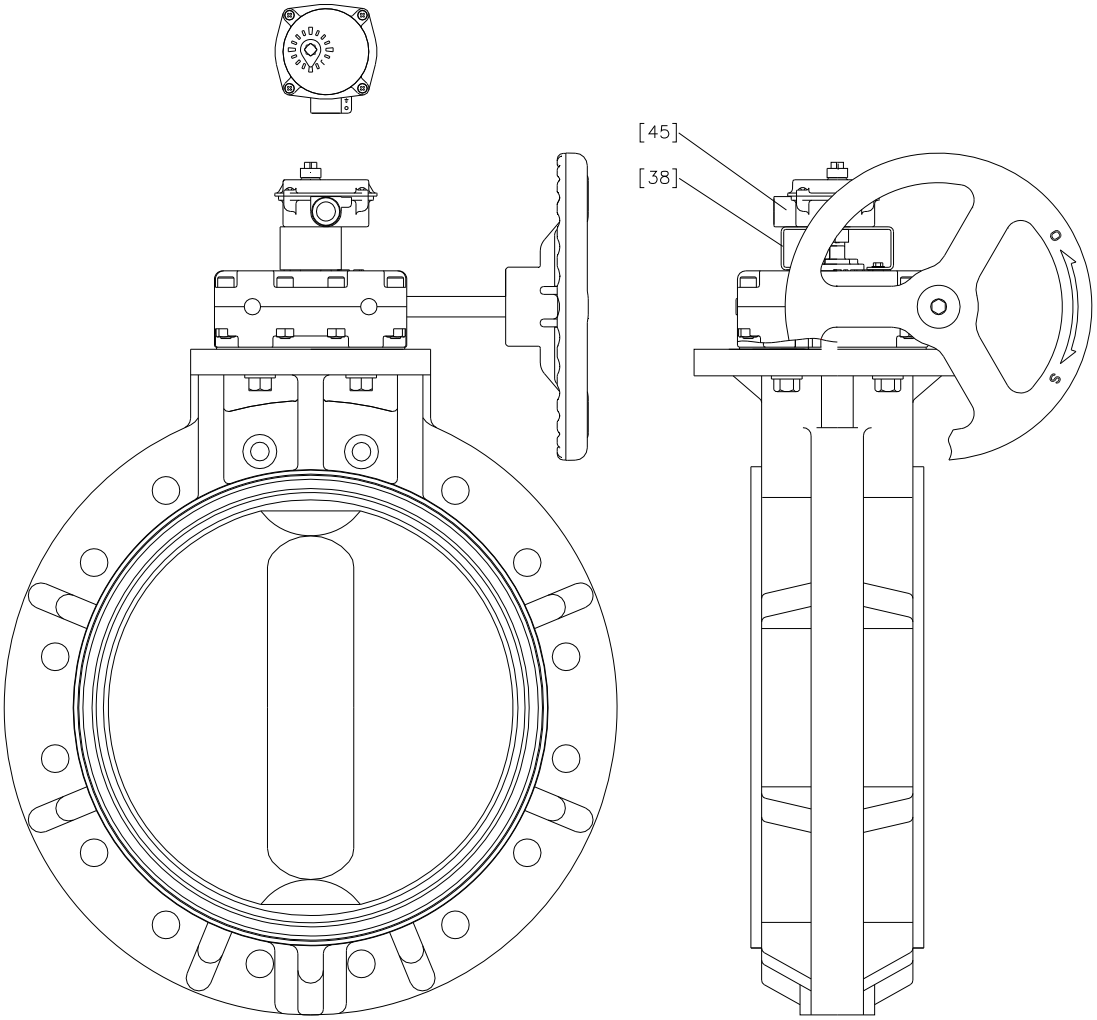
ロングステム式 (Type 3/ AB1250N) (オプション)



No.	名称	No.	名称
[66]	ボルト・ナット(B)	[75]	シャフト
[70]	ガスケット(C)	[77]	ボルト(H)
[74]	保護管	[158]	ガスケット(L)

呼び径： 400mm (本体材質： PP, PVDF, PDCPD)

リミットスイッチボックス (TA-200-SB2) (Type 3) (オプション)

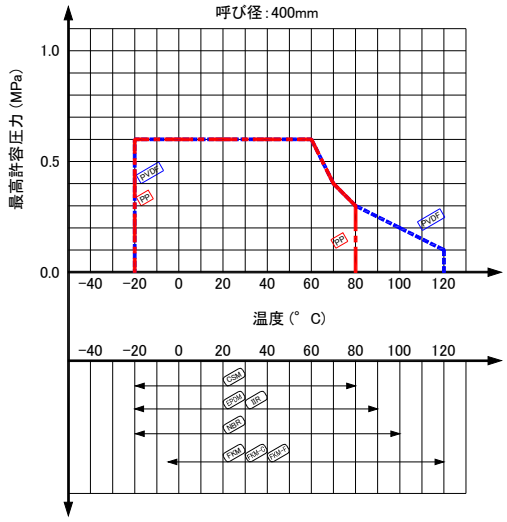


No.	名称
[38]	ブラケット(A)
[45]	リミットスイッチボックス

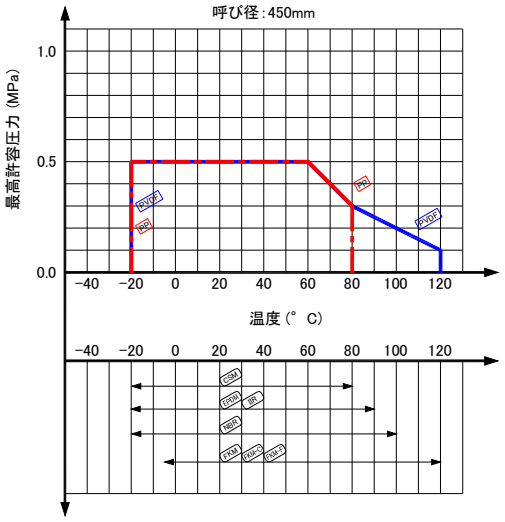
5. 使用温度と圧力の関係

本体材質： PP, PVDF

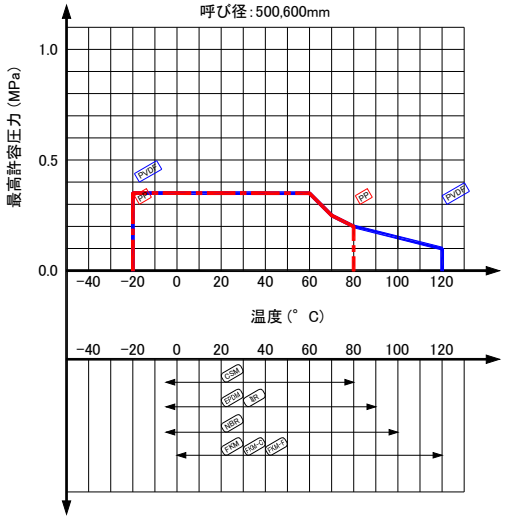
バタフライバルブ56型



バタフライバルブ75型

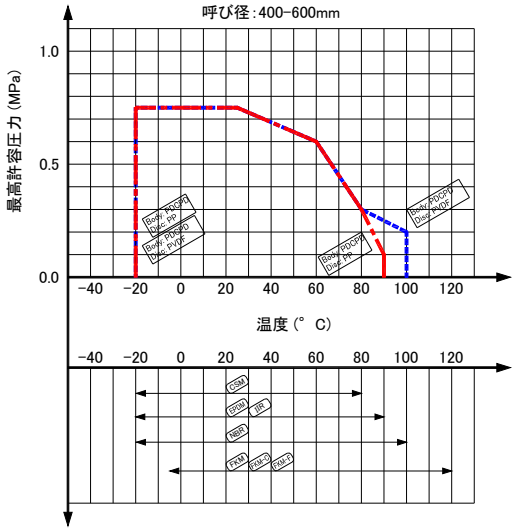


バタフライバルブ75型



本体材質： PDCPD

バタフライバルブ56D,75D型



6. リミットスイッチボックス仕様（オプション）

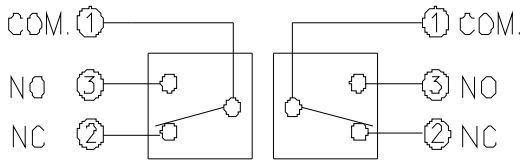
呼び径	操作方式	型式	保護等級
400mm	サイドギヤ式	TA-200-SB2	IP55

リミットスイッチボックス

型式	定格電圧(V)	抵抗負荷(A)	誘導負荷(A)
TA-200-SB2	AC125	11	7
	AC250	11	7
	DC125	0.5	0.1
	DC250	0.25	0.04

内部回路図（中間開度時）

TA-200-SB2



7. 取付方法

警告

・バルブの吊り下げ・玉掛けは、安全に十分注意して吊り荷の下に立たないでください。

・使用する機械工具及び電動工具は、始業前に必ず安全点検を行なってください。

・配管施工する際は、作業内容に応じた適切な保護具を着用してください。
（ケガをする恐れがあります）

注意

・U バンドなどで配管サポートを取られる際は、締め過ぎにご注意ください。（破損します）

・取付けの際は配管及びバルブ等に引張り、圧縮、曲げ、衝撃等の無理な応力が加わらないように設置してください。

・接続フランジは全面座のものを使用してください。

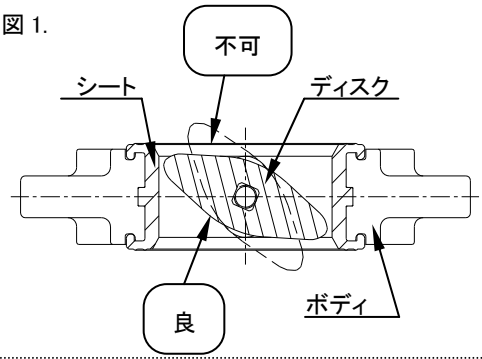
・相互のフランジ規格に違いがないように確認してください。

・配管取付の際は、全閉状態で取り付けないでください。
（ディスクがシートへ噛み込み、操作トルクが重くなり、開閉操作ができなくなる恐れがあります）

・ガスケットは不要です。（バルブのシート[3]がガスケットの役割をします）

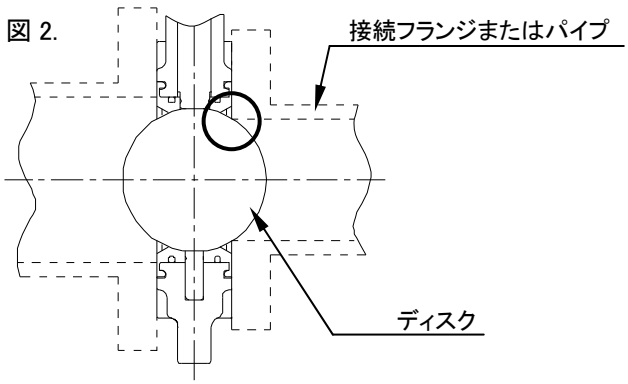
・出荷時の製品は図 1 の『良』の状態になっています。配管取付の際、バルブを開閉することがあれば、操作後は必ずもとの状態(図 1 の『良』)にディスクを戻してから取り付けてください。また、図の『不可』の状態で運搬・取付工事を行いますと、ディスクのシール面に傷をつける恐れがありますのでご注意ください。

図 1.

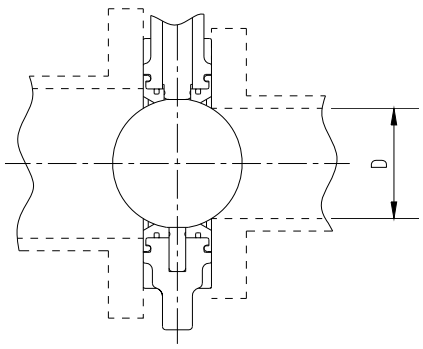


・接続部(フランジ・パイプ)の内径が小さな場合には、バルブディスクと接続部の内面の接触を避けるために、接続部内側の面取りを行なってください。

図 2.



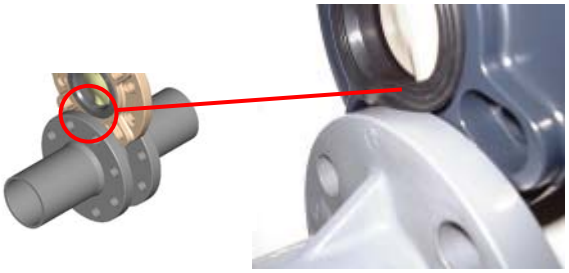
○ 接続部の内径は、下記数値以上にしてください。



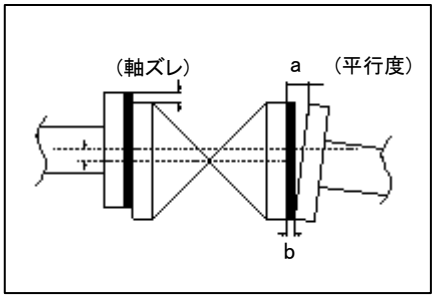
呼び径（mm）	内径 D（mm）
400	370
450	422
500	472
600	572

注意

・バルブをフランジの間に挿入する際は、
面間を十分に広げてから挿入してください。
（フランジの面間を十分に広げずにバルブを無理に挿入すると、シートがめくれてキズが入る可能性があります。）

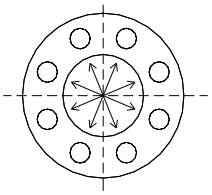


・フランジ面の平行度及び軸芯ズレの寸法は下記の表の数値以下にしてください。
（配管に応力が加わり破損する恐れがあります）



呼び径(mm)	軸芯ズレ	平行度（a-b）
400～600	1.5mm	1.0mm

・接続フランジのボルト・ナットは対角線上に規定トルクで締付けてください。
（漏れや破損する恐れがあります）



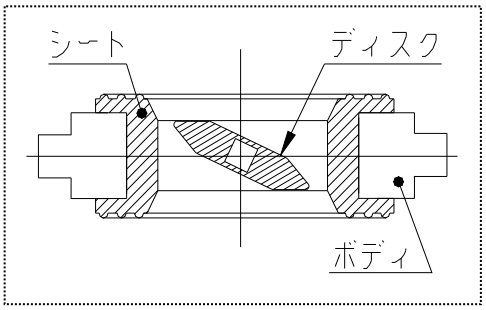
規定トルク値　　単位；N･m{kgf･cm}

呼び径(mm)	400	450	500	600
トルク値	80.0 {816}		100.0 {1020}	

準備するもの
● トルクレンチ　● スパナ　● 通しボルト・ナット・ワッシャ(下記寸法のもの)

手順

1）ハンドルでディスクを微開の状態にします。
※ ディスク[2]がシート面間よりはみ出さないようにしてください。
（ディスク[2]が破損する恐れがあります）
2）連結フランジ間にセットします。
3）連結用の通しボルト・ワッシャ・ナットで手による仮のセットを行います。
4）徐々に規定トルク値まで対角線上にトルクレンチで締め付けます。



通しボルト(ボルト A)、ねじ込みボルト(ボルト B)の寸法

本体材質： PP, PVDF, PDCPD

▼JIS 10K

呼び径		ボルト A			ボルト B		数量		
mm	inch	D	L (mm)	S (mm)	D_1	L_1 (mm)	ボルト A	ボルト B	ナット・ワッシャ
400	16”	M24	290	60	M24	120	14	4	32
450	18”	M24	310	65	M24	120	16	8	40
500	20”	M24	320	65	M24	120	16	8	40
600	24”	M30	350	75	M30	140	20	8	48

注記 1. 上記数値の呼び径 400～600mm は JIS B 2220「鋼製管フランジ」呼び圧力 10K 並形を使用した場合のボルト寸法です。

注記 2. ナット・ワッシャ数量はボルト A の場合、2 組(ボルト 1 本/ナット 2 ヶ、ワッシャ 2 ヶ)、ボルト B の場合は 1 組(ボルト 1 本/ナット 1 ヶ、ワッシャ 1 ヶ)の数量です。

▼上水

呼び径		ボルト A			ボルト B		数量		
mm	inch	D	L (mm)	S (mm)	D_1	L_1 (mm)	ボルト A	ボルト B	ナット・ワッシャ
400	16”	M22	290	60	–	–	12	–	24
450	18”	M24	310	60	–	–	12	–	24
500	20”	M24	320	60	–	–	12	–	24
600	24”	M24	340	60	–	–	16	–	32

注記 1. 上記数値の呼び径 400～600mm は JIS G 5527「ダクタイル鋳鉄異形管」呼び圧力 7.5K を使用した場合のボルト寸法です。

注記 2. ナット・ワッシャ数量はボルト A の場合、2 組(ボルト 1 本/ナット 2 ヶ、ワッシャ 2 ヶ)の数量です。

本体材質： PP, PVDF

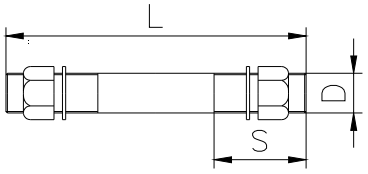
▼JIS 5K

呼び径		ボルト A			ボルト B		数量		
mm	inch	D	L (mm)	S (mm)	D_1	L_1 (mm)	ボルト A	ボルト B	ナット・ワッシャ
400	16”	M22	260	55	–	–	16	–	32
450	18”	M22	270	55	–	–	16	–	32
500	20”	M22	280	55	–	–	20	–	40
600	24”	M24	320	60	–	–	20	–	40

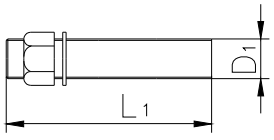
注記 1. 上記数値の呼び径 400～600mm は JIS B 2220「鋼製管フランジ」呼び圧力 5K を使用した場合のボルト寸法です。

注記 2. ナット・ワッシャ数量はボルト A の場合、2 組(ボルト 1 本/ナット 2 ヶ、ワッシャ 2 ヶ)の数量です。

ボルトA



ボルトB



8. リミットスイッチボックス結線方法（オプション）

警告 ・リミットスイッチへの結線・離線は通電状態では行わないでください。
（感電したり機械が突然始動したりします）

注意 ・カバーを開放して放置または使用しないでください。
（水、塵埃などが浸入し動作不良になることがあります）

・電線は絶縁被覆付き圧着端子を用いて、カバー、ハウジングに接触しないように結線してください。
（カバーに圧着端子が接触するとカバーが締まらなくなったり地絡することがあります）

・リミットスイッチを 1mA～100mA, 5～30V で使用される場合は、最寄りの営業所へご相談ください。

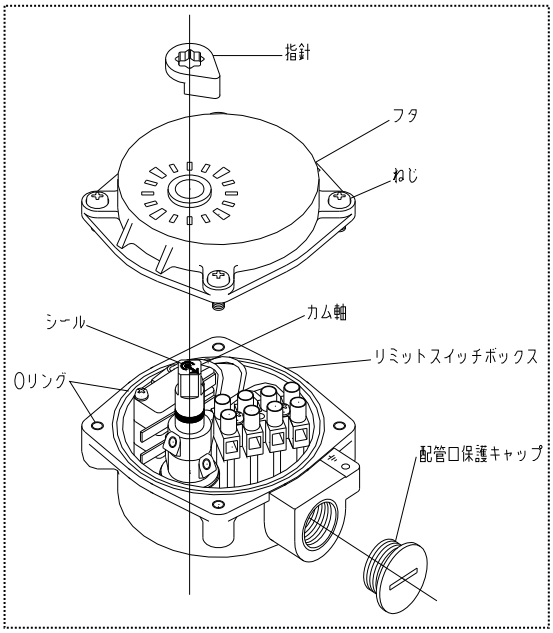
・カバーは確実に取り付けてください。(雨水等が浸入し、故障の原因になります。)

準備するもの

- プラスドライバ
- マイナスドライバ
- コネクタ(G1/2)
- ワイヤーストリッパー

手　順

1) 指針を手ではずします。
2) フタを固定しているねじ(4 ヵ所)をプラスドライバで緩めて外します。※O リングは紛失しないでください。
3) 配管口保護キャップを反時計回りに回して外します。
4) コネクタにケーブルを通します。
5) ワイヤーストリッパーでケーブルの外皮をむきます。
6) 端子ねじにマイナスドライバで 14 頁の内部回路図に従って結線します。
7) コネクタを締め付けてケーブルを固定します。
8) フタを取り付けた後、ねじ(4 ヵ所)をプラスドライバで交互に均一に締めます。
9) カム軸頭部のシール矢印方向と指針との向きが合致するように指針を嵌めこみます。



9. 操作方法

注意

・流体にゴミなどの異物の混入した状態でバルブを開閉しないでください。

・バルブ取付後においても砂等の異物がパイプラインに残る恐れがありますので、配管内を洗浄した後、バルブの開閉をしてください。

・バルブを全閉・全開する際は、ハンドルを過度の力で必要以上に回さないでください。（破損する恐れがあります）

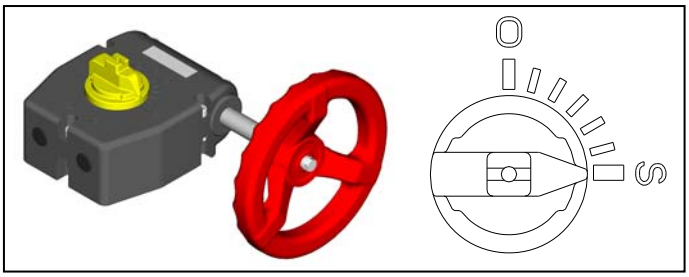
・ハンドル操作は必ず手で行ってください。（器具などを使用すると破損する恐れがあります）

全閉時は ……開度表示が、SHUT の位置を向きます。

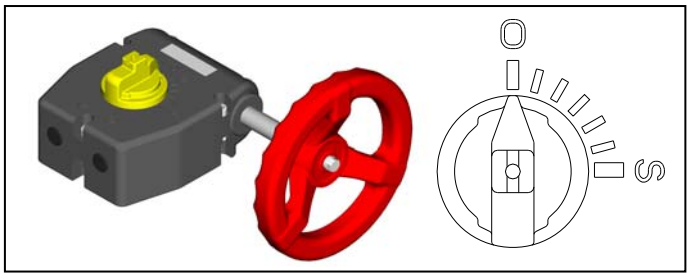
全開時は ……開度表示が、OPEN の位置を向きます。

○サイドギヤ式(Type 3)【呼び径： 400mm (バタフライバルブ 56, 56D 型)】

全閉状態

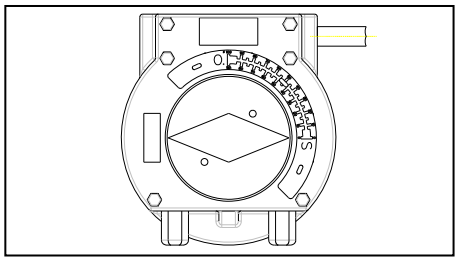


全開状態

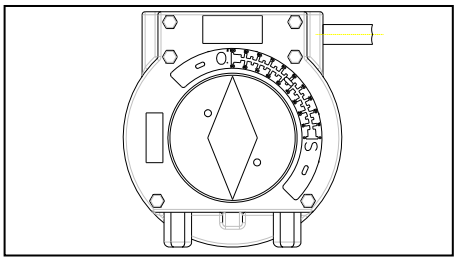


○サイドギヤ式(AB1250N)【呼び径： 450-600mm (バタフライバルブ 75, 75D 型)】

全閉状態

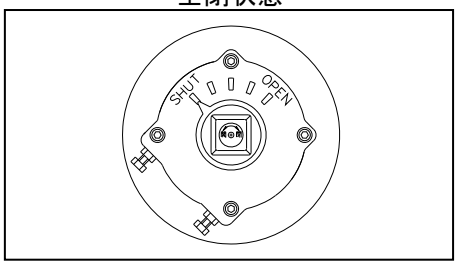


全開状態

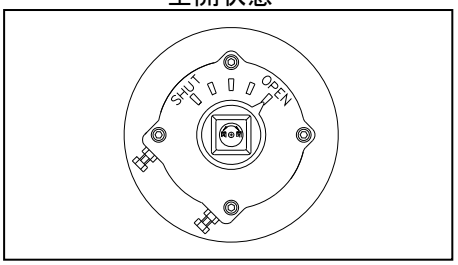


○トップギヤ式(RVA-03-UG, RVA-04-UG)【呼び径： 400-600mm (バタフライバルブ 56, 56D, 75, 75D 型)】

全閉状態



全開状態



○ サイドギヤ式(Type 3/ AB1250N)ハンドル操作力

呼び径	ステムトルク（シールトルク）		ハンドル	ハンドル操作力	
本体材質	PP, PVDF	PDCPD	直径	PP, PVDF	PDCPD
mm	N･m	N･m	mm	N	N
400	760	1300	300	170	290
450	820	1500	400	127	236
500	1150	1800	400	178	286
600	1600	1900	400	248	302

※上記値は参考値です。(標準状態での測定値であり、種々条件で異なります。)

※ギヤ式のハンドル操作力(N)は、両手でハンドルを操作する場合の値です。

○ トップギヤ式(RVA-03-UG/ RVA-04-UG)ハンドル操作力

呼び径	ステムトルク（シールトルク）		ハンドル	ハンドル操作力	
本体材質	PP, PVDF	PDCPD	直径	PP, PVDF	PDCPD
mm	N･m	N･m	mm	N	N
400	760	1300	250	190	326
450	820	1500	315	98	178
500	1150	1800	315	134	212
600	1600	1900	315	190	224

※上記値は参考値です。(標準状態での測定値であり、種々条件で異なります。)

※ギヤ式のハンドル操作力(N)は、両手でハンドルを操作する場合の値です。

10. 部品交換のための分解及び組立方法

注意

・配管施工する際は、作業内容に応じた適切な保護具を着用してください。
(ケガをする恐れがあります)

・取付の際は配管及びバルブ等に引張り、圧縮、曲げ、衝撃等の無理な応力が加わらないように設置してください。

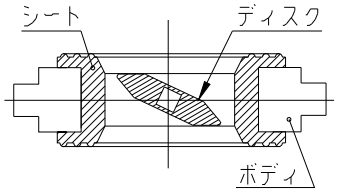
・バルブの取替えや部品交換の際には、配管内の流体を完全に抜いてください。
又流体が抜けない場合は、流体の圧力をゼロにしてください。

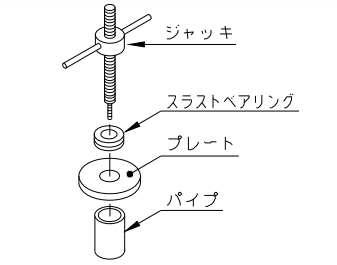
準備するもの

- 保護手袋
- 保護眼鏡
- ソケットレンチ
- スパナ
- ジャッキ
- プレート
- スラストベアリング
- シリコングリス
- プラスドライバ
- マイナスドライバ

＜バルブ分解＞

1) 配管内の流体を完全に抜き、バルブを微開の状態にします。
2) 連結ボルト･ナットをスパナで緩めます。
3) バルブを配管から外します。
4) ギヤボックス[25]は、ボルト[28]を緩めて、上に引き抜いて取り外します。
5) ジャッキ、スラストベアリング、プレート、パイプをバルブに取りつけて、ジャッキ軸をステム[7]にねじ込み、ジャッキのハンドルを回してステム[7]を抜きます。





6) O リング(C)[6]を取り外します。

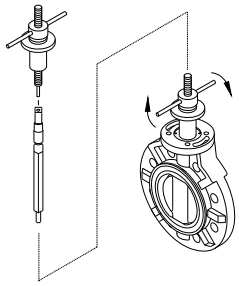
7) ディスク[2]を全開の状態にします。

8) シート[3]の両端を引き出し、シート[3]と、ディスク[2]を揺らしながら徐々に外します。

9) シート[3]からディスク[2]を取り出します。

10) O リング(A)[4]と O リング(B)[5]を取り出します。

※参考図



＜ギヤボックスハンドル分解＞

1) ハンドル(C)[207]とギヤボックス[25]を連結しているスプリングピン[209]を工具を使い押し出します。

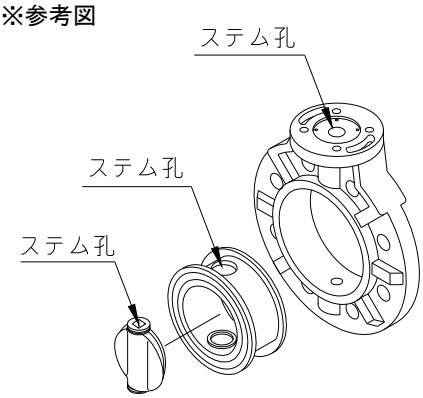
2) ギヤボックス[25]からハンドル(C)[207]を抜きます。

＜バルブ組立＞

1) 組み立てる前に、O リング(A)[4]、O リング(B)[5]、O リング(C)[6]にシリコングリスを塗布します。

2) 部品の組立作業は、＜分解＞から逆の手順で行います。
ただし、ディスク[2]をセットしたシート[3]をボディ[1]に挿入するときは、ディスク[2]を半開にし、ステム[7]の孔方向(ボディ[1]とシート[3]のステム孔位置を合致させます。)を中心に、シート[3]の外側リムをボディ[1]の内側に入れ、手で押さえながら入れます。

※参考図



3) 組立が完了したら手動操作を行い、ディスク[2]がシート[3]に十分フィットするか確認してください。

＜ギヤボックスハンドル組立＞

1) ハンドル(C)[207]のギヤボックス[25]嵌合穴内側にシリコングリスを塗布し、スプリングピン穴位置を合わせながら取付けます。

2) ハンマーを用いてスプリングピン[209]を押し込みます。

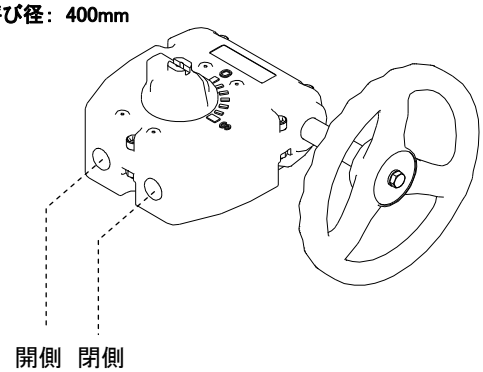
11. ストッパの調整方法

準備するもの
● 保護手袋　● 六角レンチ　● スパナ

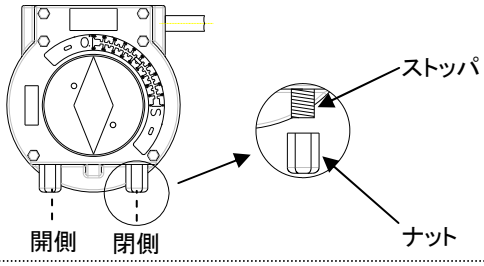
※ディスクの全開・全閉位置を変更する場合、ギヤボックスのストッパボルトで調整することができます。

1) サイドギヤ式（呼び径：400mm)の場合
ギヤボックスのキャップを手で取り外します。
サイドギヤ式（呼び径：450～600mm)の場合
ナットを取り外します
トップギヤ式（呼び径：400～600mm)の場合
ロックナットを緩めます。
2) 六角レンチ又はスパナにてストッパを緩めます。
3) バルブの手動操作を行い、ディスクを希望する全開位置(又は全閉位置)へ移動させます。
4) ストッパボルトにシリコングリスを塗布し、六角レンチ又はスパナにて締め付けます。
5) サイドギヤ式（呼び径：400mm)の場合
ギヤボックスのキャップを元に戻します。
サイドギヤ式（呼び径：450～600mm)の場合
ナットを取り付けます。
トップギヤ式（呼び径：400～600mm)の場合
ロックナットを固定します。

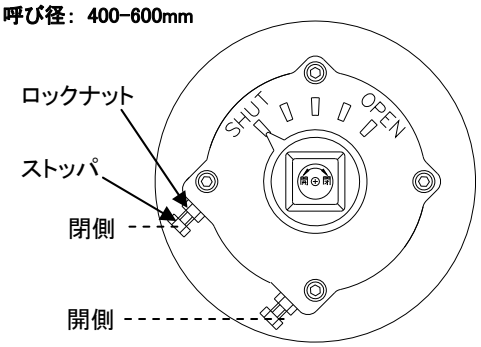
バタフライバルブ 56, 56D 型サイドギヤ式
呼び径：400mm



バタフライバルブ 75, 75D 型サイドギヤ式
呼び径：450–600mm



バタフライバルブ 56, 56D, 75, 75D 型トップギヤ式
呼び径：400–600mm



12. 点検項目

注意 ・定期的なメンテナンスを行なってください。
（長期保管・休転時または使用中の温度変化や経時変化により、漏れが発生する恐れがあります）

(1)	外観にキズ・ワレ・変形はないか。
(2)	外部への漏れはないか。
(3)	シートつば部の極端なはみ出しや、引き込みはないか。
(4)	ハンドル(手動)操作はスムーズに行えるか。

13. 不具合の原因と処置方法

状 態	原 因	処置方法
全閉にしても流体が止まらない	ストッパの調整不良	ストッパの再調整 (21 頁参照)
	シートのキズつき又は摩耗	シート(部品)の交換 (20 頁参照)
	異物のかみ込み	分解して清掃 (20 頁参照)
	ディスクのキズつき又は摩耗	ディスク(部品)の交換 (20 頁参照)
	連結ボルトの片締め又は締め過ぎ	バルブの再取り付け (15 頁参照)
外部漏れがある	シートのめくれ又はキズつき	シートの交換 (20 頁参照)
ハンドル操作が重い	異物の付着	バルブの再取り付け (15 頁参照)
	ギヤボックスの故障	ギヤボックス(部品)の交換 (20 頁参照)
	連結ボルトの締め過ぎ	バルブの再取り付け (15 頁参照)
開閉出来ない	ギヤボックスの故障	修理又は交換 (20 頁参照)
	ステムの故障	ステムの交換 (20 頁参照)
	スプリングピンの故障	スプリングピンの交換 (21 頁参照)

14. 残材・廃材の処理方法

・廃棄される場合は、各自治体の指針に従い、廃棄専門業者に処理をお願いしてください。
（燃やすと有毒ガスが発生します）

バタフライバルブ 56/75/56D/75D 型

旭有機材工業株式会社

旭有機材ホームページ　http://www.asahi-yukizai.co.jp/

本書内容につきましては、製品改良の為、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。　2014.10